KENYO

ワイヤレス充電器付きラジオ時計

取扱説明書

YACWC278J1K

YACWC278J1W

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることのできる場所に保管してください。
●保証書はこの取扱説明書にの最後に記載があります。レシートとともに保管してください。
●本製品は日本国内用に設計・販売しています。日本国外ではお使い頂けません。また日本国外でのご使用に関して、弊社では一切サポートできません。

最初にご確認ください

お使いになる前に、セット内容がすべて揃っているかご確認ください。
万一、足りないものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

セット内容

①ワイヤレス充電器付きラジオ時計……1台　③取扱説明書･保証書 …… 1部
②ACアダプター …… 1個
※欠品や破損があった場合は、お買い求めの販売店へご連絡下さい。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがあります。

2022.01.26

表示について

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告　この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意　この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

安全上のご注意

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
■この項目は、いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告

●本製品は電気で動作しておりますので、発火する危険があります。万一煙が出たり異臭がした場合は、本製品及び接続している機器の電源を切り、お買上げの販売店または弊社までご連絡ください。
●本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
⚠感電や火災、故障の原因となることがあります。
●雷が鳴っているときに、本製品や接続しているケーブル、機器に触れないでください。
⚠落雷により感電する恐れがあります。
●本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置いたりしないでください。
⚠火災や故障の原因となることがあります。
●本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。
⚠故障･感電などの原因となることがあります。
●本製品のコネクタ部がぐらつくなどの異常がある場合には使用を中止し、新しい本製品を購入、使用してください。
⚠故障や感電の原因となることがあります。
●本製品や接続するケーブルは、家具で踏んだり、扉で挟まないでください。また付属のACアダプタのケーブルを引っ張ったり折り曲げないでください。
⚠火災や故障の原因となることがあります。
●水などの液体に濡らさないでください。風呂場、台所、海岸、水辺、屋外では使用しないでください。また加湿器を過度に効かせた部屋や、雨･雪･水がかかる場所での使用は特にご注意ください。
⚠火災･感電などの原因になる恐れがあります。
●分解･修理･改造は絶対にしないでください。修理や改造、分解に起因する物的損害について、弊社は一切責任を追いません。また、修理や改造、分解に起因する故障に対する修理は保証期間内であっても有料になります。修理は販売店または弊社営業所にご依頼ください。
⚠火災や感電、またはけがをする恐れがあります。
●USBコネクタは根元まで確実に差し込んでください。
⚠差し込みが不十分のまま使用すると、ホコリやゴミなどの堆積による火災の原因となる恐れがあります。
●誤った方法で設置･使用しないでください。
⚠本製品を逆さまにしたり、風通しの悪い場所で使用したりしないでください。通気性の悪い場所に押し込まないでください。
●本製品の上に規格準拠機器以外のものを置かないでください。
⚠火災･感電の原因になるほか、故障の原因になります。
●本製品と充電する機器の間に、クリップや小さな貴金属、硬貨などの金属片をはさまないでください。
⚠金属片が発火しやけどをおこしたり本体が変形する恐れがあります。
●湿気やホコリの多い場所へ設置しないでください。加湿器の側や調理台の近く、その他ホコリの多い場所に設置しないでください。
⚠回路がショートして火災･感電の原因となる恐れがあります。
●ゆるみのあるコンセントは使用しないでください。USB充電器を差し込んだ時、ゆるみがあるコンセントは使用しないでください。
⚠火災･感電の原因となる恐れがあります。
●自動車内では使用しないでください。
⚠自動車盗難防止システム(イモビライザー)その他制御機器が誤作動する場合がある他、本製品が変形･変色したり火災の原因となることがあります。
●心臓用ペースメーカーをお使いの方は、本製品のご使用にあたって医師とよく相談してください。
⚠本製品の動作がペースメーカーに影響を与える恐れがあります。
●本製品の落下時、破損時は必ず販売店に点検を依頼してください。
⚠そのまま使用すると、火災･感電の原因となる恐れがあります。

⚠ 注意

●取付け取外しの時は慎重に作業を行ってください。(機器の故障の原因となります)
●次のような場所で使用しないでください。
(1)直接日光の当たる場所 (2)湿気や水分のある場所 (3)傾斜のある不安定な場所
(4)静電気の発生する場所 (5)通常の生活環境とは大きく異なる場所
●本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
⚠故障･破損などの原因となることがあります。
●付属のACアダプタのケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクタ部分を持ち、無理な力を加えないでください。
⚠故障･破損などの原因となることがあります。
●付属のACアダプタのケーブル部分を束ねたままでは使用しないでください。
⚠故障･破損などの原因となることがあります。
■お手入れについて
(1)清掃する時は電源を必ずお切りください。
(2)機器は柔らかい布で拭いてください。
(3)シンナー･ベンジン･ワックス等は使わないでください。

ライセンスについて

Bluetooth®

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社慶洋エンジニアリングは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Qi

「Qi」は、Wireless Power Consortium の登録商標です。

無線機器について

●本機は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています。(証明を受けた部品を使用しています)したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
・分解/改造すること。
・本機に貼付されている認証表示(適合マーク及び認証番号)をはがすこと。

●本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上の注意事項

●本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業･科学･医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。

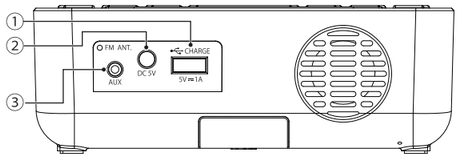
●鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんで本機とスマートフォンを接続すると電波を遮ってしまい、接続できなくなる場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
●記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
・2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。
・ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。

●次の記載は、本機が2.4GHz帯を使用し、変調方式としてFH-SSを採用、想定される与干渉距離は10mであることを示します。また、周波数変更の可否として、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを示します。

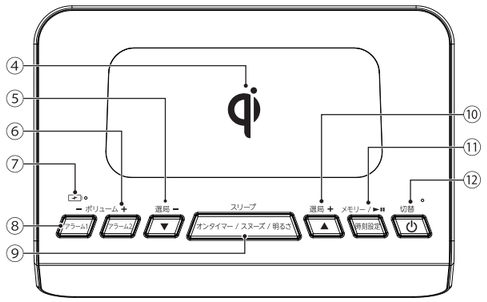
2.4　：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH　：FH-SSの方式を表します。
1　：想定される与干渉距離は10mです。
：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可です。

各部の名称

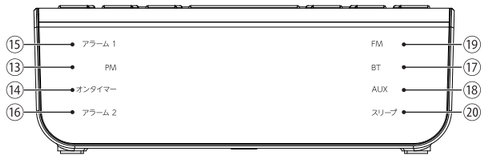
■背面



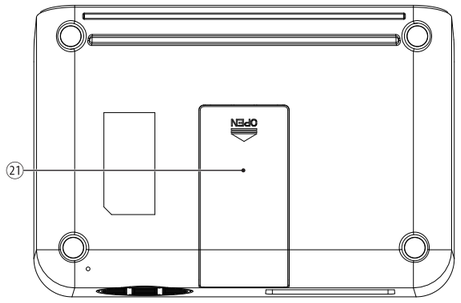
■上面



■前面



■底面



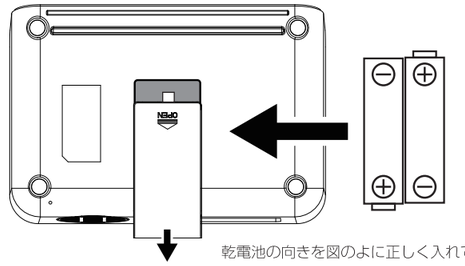
名　称	機　能
①,USB端子（充電用）	USB ケーブルを接続してスマートフォンなどの機器の充電ができます。(5V/1A)
②,DC5V端子	付属の AC アダプタを接続します。
③,AUX-IN	3.5mmφ ステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを接続します。
④,Qi充電エリア	ワイヤレス充電「Qi」に対応したスマートフォンを乗せると充電を行います。
⑤,選局(－)	選択・スキップボタン（▼）時刻設定などでカウントを下げます。
⑥,アラーム2 / ボリューム＋	音量を上げます。電源が OFF の時に押すとアラーム 2 を ON・OFF できます。
⑦,ワイヤレス充電ランプ	ワイヤレス充電の状態を表示します。 充電時：青点灯、満充電：緑点灯、異常時：青 / 緑交互点滅。
⑧,アラーム1 / ボリューム－	音量を下げます。電源が OFF の時に押すとアラーム 1 を ON・OFF できます。
⑨,オンタイマー/スヌーズ /明るさ/スリープ	オンタイマー、スリープタイマーを設定します。 アラーム中に押すとスヌーズ機能が働きます。 長押しすると表示の明るさを 3 段階から変更できます。
⑩,選局(＋)	選択・スキップボタン（▲）時刻設定などでカウントを上げます。
⑪,メモリー/再生・一時停止/時刻設定	時刻の設定や FM ラジオの放送局の登録、Bluetooth の操作ができます。
⑫,電源 / 切替	FM ラジオ、Bluetooth、AUX を切り替えます。長押しすると電源を OFF にします。
⑬,PMランプ	時刻設定で、12H 表示にした場合、午後の時刻で点灯します。
⑭,オンタイマーランプ	オンタイマー ON の時に点灯します。
⑮,アラーム1ランプ	アラーム 1 ON の時に点灯します。
⑯,アラーム2ランプ	アラーム 2 ON の時に点灯します。
⑰,BTランプ	Bluetooth 選択時に点灯します。
⑱,AUXランプ	AUX 選択時に点灯します。
⑲,FMラジオランプ	FM ラジオ選択時に点灯します。
⑳,スリープランプ	スリープタイマー ON の時に点灯します。
㉑,電池ボックスカバー	停電時のバックアップ用です。単三乾電池 2 本（別売り）を入れます。

準備をする

バックアップ用電池を入れる

電池ボックスカバーを外し、電池の ＋ と － を間違えないように、
単三乾電池(別売り)を2本入れます。

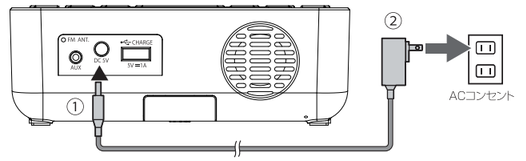
■底面



乾電池の向きを図のよに正しく入れてください。
※電池は別売りです。
※本製品は電池だけでは動作しません。

AC アダプタを接続する

■背面



①電源アダプタのDCプラグを接続します。

②ACアダプタをACコンセントに差し込みます。

・ACアダプターを抜き差しする前に、【⏻ /切替】ボタンを長押しして電源をOFFにしてください。
・本機は、電源コンセントに接続されている限り、主電源から切断されません。

現在の時刻を設定する

時刻設定は、電源がOFFの時に行ってください。

【時刻設定】ボタンを長押しして時間設定モードに入ります。

24 時間表示 / 12 時間表示設定

①【時刻設定】ボタンを長押しします。表示部が「24H」という表示になり点滅します。

②【選局 +/－】ボタン(▲･▼)を押して、「12H」か「24Hを選び、【時刻設定】ボタンを押します。

曜日設定

③【選局 +/－】ボタン(▲･▼)を押して、「d1」～「d7」を選び、【時刻設定】ボタンを押します。
d1「月曜日」からd7「日曜日」。

時刻設定

④【選局 +/－】ボタン(▲･▼)を押して、「時間」を設定し、【時刻設定】ボタンを押します。

⑤【選局 +/－】ボタン(▲･▼)を押して、「分」を設定し、【時刻設定】ボタンを押します。

※時刻設定中にボタンを10秒間押さないと、それまでの内容で設定が確定します。

Bluetooth 接続で音楽を聴く

スマートフォンなどに保存されている音楽などをBluetoothを使用して本機で再生できます。

・ご使用になる接続先機器がBluetoothに対応している必要かあります。
・接続先機器のBluetooth機能をONにしてください。
操作については、お手持ちの機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth 接続設定

①【⏻/切替】ボタンを押して、BT（Bluetooth）を選択します。「BT」のランプが点灯します。
②接続先機器側のBluetooth機能をONにしてください。
③接続先機器側のBluetoothリストから「YACW278J1」を選択し、接続します。
※パスワードを要求された場合「0000」を入力してください。
④接続すると接続音が鳴ります。

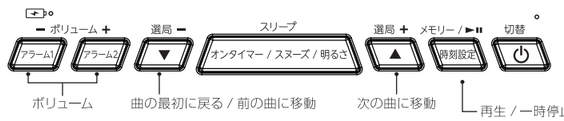
※FMラジオやAUXに切り替えたり、電源をOFFにするとBluetooth接続は切断されます。

接続できないときは本機の電源をOFFにして、しばらくしてから再度電源をONしてください。
また、接続先機器側のリストから本機の登録情報を削除して再度接続してください。

※お手持ちの機器

本機での再生操作

Bluetooth接続時は本機で接続先機器の操作が行えます。
※機器によっては動作しなかったり、動作が異なる場合があります。



アラーム設定

アラーム2の設定は文章中の【アラーム1】ボタンの操作を【アラーム2】ボタンに読み替えて行ってください。

アラーム時刻の設定

アラーム設定は、電源がOFFの時に行ってください。
（FM·BT·AUX·スリープモード中ではボリューム操作が優先されます。）

①【アラーム1】ボタンを長押しし「0:00（12:00）」の「時」表示が点滅します。アラーム1ランプが点灯します。
②【選局 +/−】ボタン（▲·▼）でアラームを設定したい時間を選び、【アラーム1】ボタンを押します。
③【選局 +/−】ボタン（▲·▼）でアラームを設定したい分を選び、【アラーム1】ボタンを押します。
④【選局 +/−】ボタン（▲·▼）でアラームを設定したい曜日を選び、音量ダウン·アラーム1ボタンを押します。
「1-7」…毎日、「1-5」…毎週月曜日〜金曜日、「6-7」…毎週土曜日·日曜日
⑤【選局 +/−】ボタン（▲·▼）でアラームの音量を選び、【アラーム1】ボタンを押します。
「U01」…音量最小〜「U16」…音量最大
⑥【選局 +/−】ボタン（▲·▼）でアラームの音源を選び、【アラーム1】ボタンを押します。「bU2」…ブザー音、「rAd」…ラジオ

※アラーム設定中にボタンを10秒間押さないと、それまでの内容で設定が確定します。この場合でも設定時刻になるとアラームが起動しますのでご注意ください。

アラーム機能を有効にします。

【アラーム1】ボタンを押すとアラーム設定時刻が表示されアラーム1が設定されアラーム1ランプが点灯します。もう一度【アラーム1】ボタンを押すと設定が解除されます。

アラームが鳴ったら

アラームを止めるには: 【アラーム 1】、【⏻/ 切替】ボタンを1回押してください。翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。
設定自体を解除するには、【アラーム1】ボタンを2回押して、アラーム1ランプを消してください。

スヌーズ機能について: アラームが鳴っているときに【オンタイマー/スヌーズ/明るさ】ボタンを押すと、一時的にアラームが停止します。一時停止中はアラーム1ランプが点滅し、そのまま約9分間経過すると再度鳴ります。

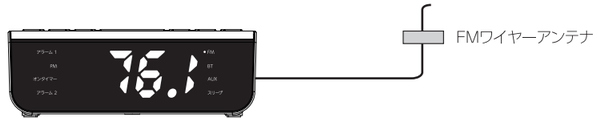
アラームが鳴ったまま何も操作をしないと約50分間なり続けますのでご注意ください。（約50分間が経過するとアラームは止まりますが、アラーム1ランプが点灯した状態が続き、翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。）

ラジオの操作

ラジオを聞く

※本機は FM ラジオ専用です。AM ラジオは受信できません。

①【⏻/切替】ボタンを押して、FMラジオを選択します。FMランプが点灯します。
②【ボリューム +/−】ボタン（+/−）を押して音量を調節してください。
③【選局 +/−】ボタン（▲·▼）を長押しして聴きたい放送局の周波数に合わせます。
周波数は自動で送られ、一番最初に受信できた放送局で止まります。
手動で合わせる場合は【選局 +/−】ボタン（▲·▼）を押して止めます。
④FMワイヤーアンテナをほどいてFMラジオがよく聴こえる場所に調整し、テープなどで固定します。
⑤FMラジオを終了させるときは、【⏻/切替】ボタンを長押ししてOFFにします。



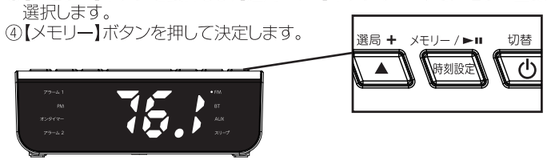
FM 補完放送「ワイド FM」について

本機は FM 周波数帯域が 76〜108MHz まであり、FM 補完放送「ワイド FM」に対応しています。FM 補完放送「ワイド FM」とは、AM 放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たに FM 放送用に割り当てられた 90.1 から 94.9MHz 周波数帯域を用いて補完的に AM 番組を放送することです。

※FM 補完局に関わる放送局や使用周波数、受信エリアなどは地域によって異なりますので、各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

FM 放送局の登録をする

①【⏻/切替】ボタンを押して、FMラジオを選択します。
②【選局 +/−】ボタン（+/−）を押して登録したい放送局の周波数に合わせます。
③【メモリー】ボタンを長押しし、【選局 +/−】ボタン（▲·▼）でメモリー登録番号を選択します。
④【メモリー】ボタンを押して決定します。



周波数帯域は76〜108MHzまであり、登録できる周波数は最大20局までです。

スリープタイマー設定

①【⏻/切替】ボタンを押して、FM/BT/AUXのいずれかを選択します。
②【オンタイマー/スヌーズ/明るさ】ボタンを押して電源がOFFになる時間(分)を選択します。【オンタイマー/スヌーズ/明るさ】ボタンを押すたびに「120」→「90」→「60」→「30」→「15」→「10」→「5」→「OFF」と変わり、スリープランプが点滅します。
③選択したまま何も操作しないと決定され、表示部が現在時刻になり、スリープランプが点灯します。
④設定した時間が経過すると自動で電源がOFFになります。

オンタイマー設定

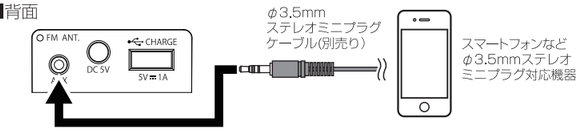
オンタイマーでFMラジオを聞くには音量を調整して、放送局を選んでから電源をOFFにしてください。
オンタイマーは最後に選択していた切替先（FM/BT/AUX）、音量で電源がONします。

①電源がOFFの状態で【オンタイマー/スヌーズ/明るさ】ボタンを押して電源がONになる時間（分）を選択します。
②【オンタイマー/スヌーズ/明るさ】ボタンを押すたびに「120」→「90」→「60」→「30」→「15」→「10」→「5」→「OFF」と変わり、オンタイマーランプが点滅します。
③選択したまま何も操作しないと決定され、表示部が現在時刻になり、オンタイマーランプが点灯します。
④設定した時間が経過すると自動で電源がONになります。

外部機器と有線接続して音楽を聴く

①本機と外部機器の電源をOFFにします。
②本機背面のAUX端子と外部機器の音声出力端子をΦ3.5mmステレオミニプラグケーブル（別売り）で接続します。
③外部機器の電源を入れた後に、本機の【⏻/切替】ボタンを押しAUXを選択します。AUXのランプが点灯します。
④外部機器側で音楽などを再生します。

■背面

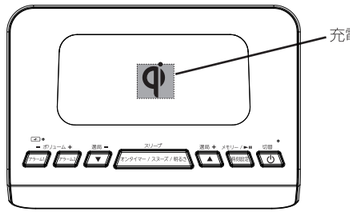


充電をする

ワイヤレス充電「Qi」対応機器を充電する

①本体上部のQiマークの上に、充電するQi(チー)に対応した機器を置きます。本機の充電エリアはQiマーク部分です。機器によって充電（受電）部が異なるため、お使いの機器の取扱説明書でご確認ください。
②機器を置くと充電ランプが青色に点灯し、充電を開始します。充電ランプが点灯しない場合は、機器の位置を調整し充電ランプが点灯する位置に置いてください。
③充電が完了すると充電ランプが緑色に点灯します。
※機器によっては、充電完了後も充電ランプが青点灯のまま変わらない場合がありますので機器の充電状況表示を確認してください。

※異常を感知すると、充電ランプが青色と緑色交互に点滅します。本機と充電する機器との間に金属片などの異物が挟まっていないかなどを確認してください。異物を取り除くと充電ランプは消灯します。異物を取り除いても充電ランプが消灯しない場合は、ACアダプタのプラグを抜き差しして、充電ランプが2回点滅した後に再度充電を行ってください。



ご注意

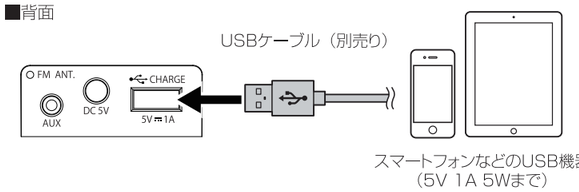
FMラジオを選択しているときはワイヤレス充電はできません。

下記の状況では正常に充電できない場合があります。
- 充電機器が満充電の場合。
- 本製品と充電機器の間に異物がある場合。
- 充電により、充電機器の温度が高温になっている場合。
- 充電器の充電面を正面にして設置した場合。
- 充電機器と本製品の充電エリアがずれて設置された場合。
- 近くにテレビ塔、発電所、ガソリンスタンド、放送局、大型ディスプレイ、空港など強い電波やノイズの発生する場所で使用した場合。
- 充電機器がアルミ箔などの金属の貼られたカードに接している場合。
- 充電機器が金属製のスマートフォンカバーなどで覆われている場合。
- 近くで電波式ワイヤレスリモコンを使用している時。
- 機器によっては受電ユニット搭載位置により、うまく動作しない場合があります。
- 全ての機器の充電を保証するものではありません。
- スマートフォンなどにカバー類を装着していると、カバーなどの材質、厚みなどによって充電できない場合があります。確実に充電するには、カバーなどから取出してください。
- 機器によっては受電ユニット搭載の位置によりうまく動作しない場合があります。動作しない場合は機器の位置 を調整し、充電する位置に置いてください。
- 本製品の上に規格準拠機器以外のものを置かないでください。
〈火災·感電の原因になるほか、故障の原因となります〉
- 心臓用ペースメーカーをお使いの方は、本製品のご使用にあたって医師とよく相談してください。
〈本製品の動作がペースメーカーに影響を与える場合があります〉

USB ケーブルを使用して充電する

本機背面のUSB端子とUSBケーブル（別売り）を接続して充電できます。
※本機のUSB端子は充電専用です。充電用途以外では使用しないでください。故障の原因となります。

■背面



- ワイヤレス充電とUSB充電を同時に使用すると、充電が始まらない場合や充電時間が長くなることがあります。

製品仕様

電源	ACアダプター 入力：AC100V 50V/60Hz 出力：DC5V 3.5A 乾電池 単３電池 ×2（別売）※1：時計、チューナーメモリーバックアップ用
USB出力	DC 5V 1A
スピーカー	直径 40mm 最大 3W
音声入力	Φ3.5 ステレオミニジャック
チューナー	受信周波数：FM 76 〜 108MHz ワイド FM（FM 補完放送）対応 アンテナ：FM ワイヤーアンテナ
サイズ	約 113（D）×166（W）×58（H）mm（FM ワイヤーアンテナ含まず）
質量	約 370g（電池、ACアダプター含まず）
時計精度	月差約 30 秒
付属品	ACアダプター、取扱説明書（保証書付）

Bluetooth

通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver.5.1
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
対応コーデック	SBC、AAC
使用周波数帯	2.4GHz帯(2.402〜2.480GHz)
変調方式	FH-SS
最大通信距離	見通し距離 約 10m※2

Qi（ワイヤレス充電）

Qi Ver.	1.2.4
出力	最大 10W（7.5W 対応）
充電距離	8mm 以下（Coil to Coil）

※1.電池は別売ですので、別途お買い求めください。
※2.通信距離は目安です。周囲環境により音が途切れたり、通信距離が短くなる場合があります。

保証書

保証規定

1. 取扱説明書の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障個所の修理をさせていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
3. 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については当社は一切の責任を負わないものとします。
4. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、取り付け、取り外し費用及び諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
5. 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
（1）保証書のご提示がない場合。
（2）本保証書に保証期間、品名、販売店、お買い上げ日の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
（3）お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
（4）お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷。
（5）火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他天災事変、事故、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷。
（6）本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
（7）正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
6. ご不明の点は、お買い上げ販売店にご相談ください。
7. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
8. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
（This warranty is valid only Japan.）

ご販売店様へ
この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。
贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡ししてください。

品名		ワイヤレス充電器付きラジオ時計
機種名		YACWC278J1K / YACWC278J1W
保証期間		お買い上げ日より 1 年間（本体）
		お買い上げ日：　　年　　月　　日
販売店	店名	
	住所	
	電話	

※領収書とともに保管してください。

お問合せ

KEIYO
株式会社慶洋エンジニアリング
〒105-0004
東京都港区新橋 6-13-1 第３長谷川ビル
http://www.keiyoeng.co.jp/
TEL：050-8880-2812（サービスコール）
Mail：keiyo.mail@nt-keiyo.com （サービスメール）
受付時間：平日 10 時〜 12 時 /13 時〜 17 時
（土日祝日と弊社指定休業日は除く）